

## 〔畜産農家の声〕

### フォーベルネット会員

津山市 松永 喜久子  
(美作県民局畜産第一班)

「私が、四国の香川県から津山に嫁いで三十六年、非農家で育ち、箸より重い物を持った事のない私（本当ですよ）。乳牛の大きさにビックリしました。餌の量、草の量の多いことと、重いこと。それを一輪車に乗せると、足もとが見えず大変でした。

生活環境が違い、大分ホームシックになりましたが、若妻会や農業士会に入れて頂き、友人もできて充実した日々になりました。

私が本格的にETを始めたのは、十五年くらい前からです。何もかも手探りで、ミルクの量は七百グラム。牛乳にミルクを入れるといいとかで、下痢をするから五百グラムと少なくしたりしましたが、子牛は大きくなりず痩せ細り、大変なものでした。

市場に出荷してもET産子というだけで、十万ほどの安値しかつきませんでした。今思えば小さく、又大きくなっていても特別のものと思われていたようです。

何度やめようかと思いつつ、「私もできるようにになりたい」と思い、和牛農家の人に聞いたり、量を増やしたり色々なことをしました。

移植をするにも、乳牛の黄体は悪く、乳量は減り、何の為に行っているのか分からなくなりました。今思えば不思議です。今はようやく下痢も無く、素直に大きくなります。何事も続けることですね。

次の目標は、肥育農家が望むように育成を行いたいと思っています。

現在、乳牛の育成と和牛の育成で、

頭数が多くなり、繁殖が大変になっています。よく解る方法がないか、試しています。

私ごとですが、ストレスを溜めない為に、犬を飼っています。スピッツのメリーとチェリー、パピヨンのパピーやアイなどがいます。この夏、チワワとトイプードルを飼い始めましたが、躰が大変です。小さいので叱ると怖がり、甘やかすと言うことを聞きません。でも毎日楽しく、元気に過ごしたいと思います。」



いつも元気な津山市の松永喜久子さん

#### (美作県民局畜産第一班)

民局から20分程のところ松永さんがお住まいの津山市大篠があります。農場へ行くと、かわいい子犬たちと明るい笑顔で出迎えてくれます。松永さんは、多くの方と交流を持ちたいとの思いから、自らフォーベルネットの会員となりました。

現在の厳しい状況の中、多くの仲間たちと協力しながらこれからも畜産を続けていこうと考えておられ、今後の活躍に期待したいと思いました。